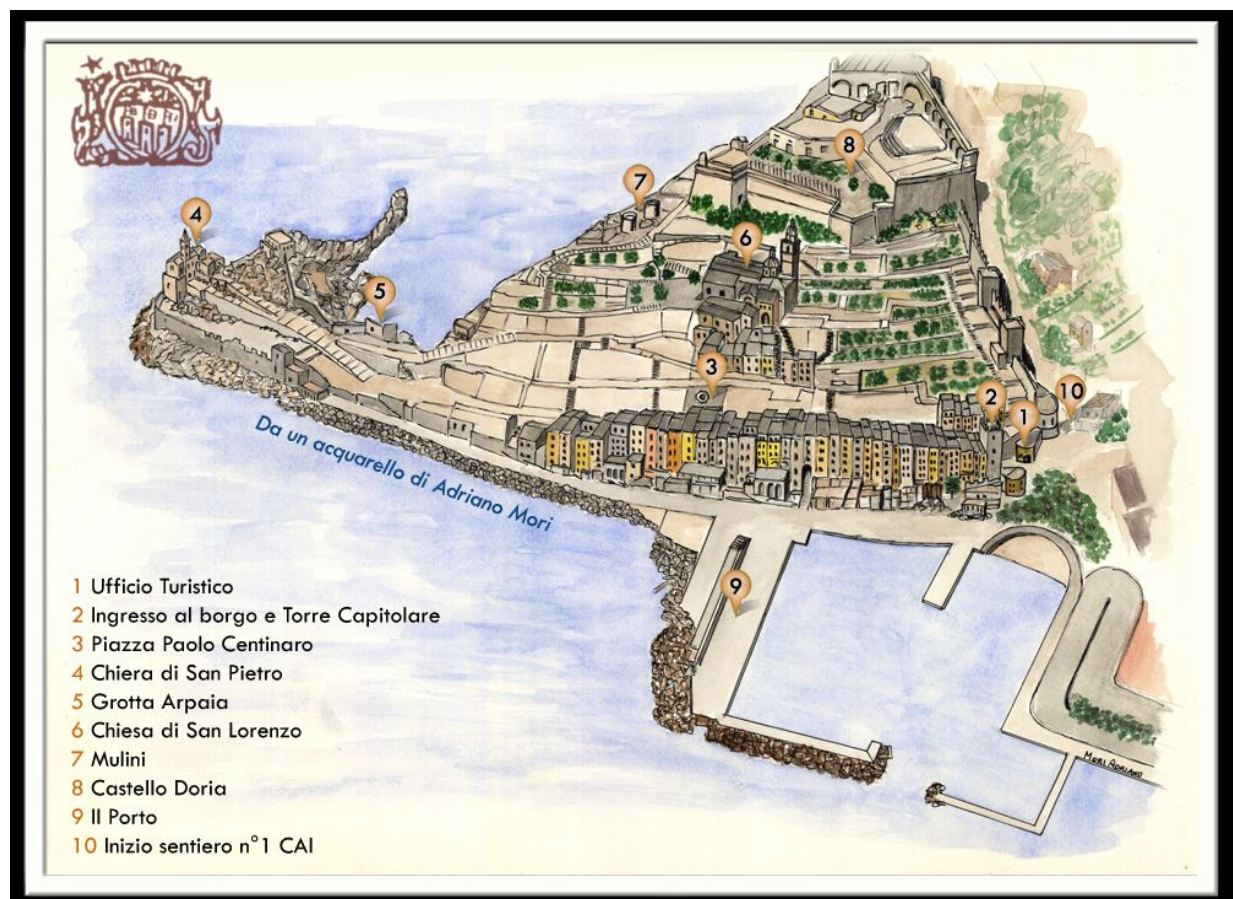


ポルト・ヴェネーレ (Portovenere) / ラ・スペツィア (La Spezia)

久しぶりに世界遺産を観光して来ました。1997年に世界遺産に登録されたチンクエ・テッレは有名ですが、この世界遺産の正式な登録名は「ポルトヴェネーレ、チンクエ・テッレと小島群」と言います。従って、ポルト・ヴェネーレ（現地の人は“ポルトヴェネーレ”ではなく“ポルト・ヴェネーレ”と言っていました）は、チンクエ・テッレと一緒に世界遺産に登録されていたのです。ポルト・ヴェネーレは、ラ・スペツィアの南にある半島の先端に位置しています。その先にはこれも世界遺産の一部でもある3つの小島があります。

ポルト・ヴェネーレは、昔から美しいところだったらしく、アテネの女神であるミネルヴァがここを見てアテネを忘れてしまったと14世紀の詩に歌われています。この美しい観光地は、日曜日の好天気に誘われた観光客でいっぱいでした。この村は城壁に囲まれた小さな村ですが、海岸沿いにはカフェとレストランが並び、城壁の中には、土産物屋と商店が軒を並べ、2つの古い教会とお城までが詰め込まれています。正に、観光客の為に造られたような村でした。その上、きれいな海にはヨットが浮かび、自然に恵まれたと海岸線と周りには山々が素晴らしい景観をもたらしてくれます。さすがに、世界遺産です。行ってみないと実感は湧かないでしょうが、とりあえずどんなところか参考になると思い下記の地図を付けておきますので見てください。



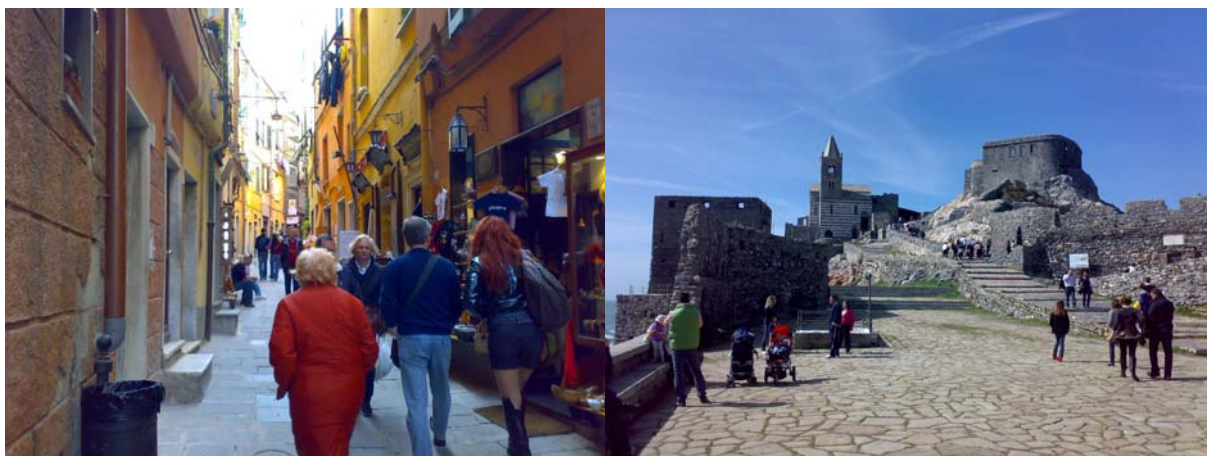
ポルト・ヴェネーレは、ローマ時代には既に存在していた記録が残っています。7世紀にロンバルド王国と東ローマ帝国との戦いの末にロンバルド王国の一部となり、12世紀初頭にはジェノヴァの支配下に入ります。この時に、長く続いたピサとの戦いの為に村は要塞化されました。城壁内の建物はこの時代の前後から建ち始めています。その後、ジェノヴァの防衛拠点として、数多くの戦いに参加

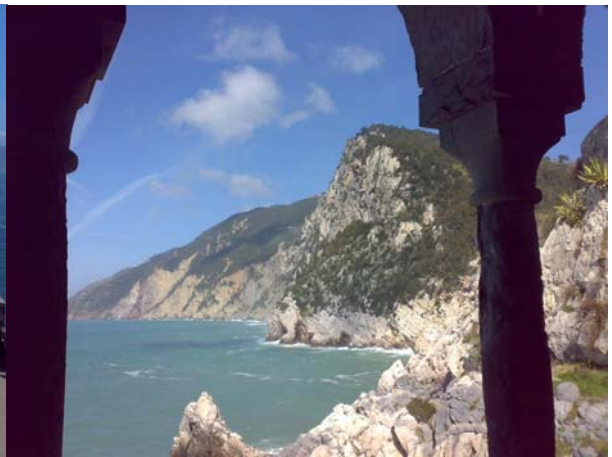
しています。無敵と言われたスペイン艦船との戦いや、勇敢な女性に導かれたポルト・ヴェネーレの海賊の話もあるそうです。日本人には内容まではわかりませんが、この小さな要塞村の歴史は観光客をひきつける大きな要素の一つになっていると思います。

観光客のお目当ては、レストラン・カフェとお土産屋もあるでしょうが、やはり、この村の歴史に関わる建物とその周りの自然を楽しむことです。ラ・スペツィアからのバスが海岸沿いに着くと、まず、この村の全体を見渡すことが出来、その美しさにこの村の観光の期待が膨らみます。村の城壁をくぐる前に、海岸線に並ぶレストランやカフェに誘惑されますが、とにかく、村への入口に向かいました。



城壁の門をくぐると、今度は土産物屋が待ち構えています。その誘惑も振り払って先に進むと、直ぐに視界が広がり、半島の突端に13世紀に建てられたサン・ピエトロ教会が見えます。ここで、そのすばらしい景観に感動しない人はいないと思います。青い海と青い空に強固な石を積みあげて出来た教会とその周りの城壁があります。自然とマッチした建物とはこんな景観を言うのだと素直に感じてしまいます。観光客が多いわけがわかりました。皆、この景観を見に来ているのです。多分、ほとんど半分の観光客がここにいるような気がします。残りは、レストランとカフェにいるはずで。ここでは、教会のテラスや裏の崖に上って景色を堪能したり、裏の崖を降りて波のしぶきを浴びたり、城壁の穴から絵画のような海や周りの自然を觀賞したりと、いろいろな楽しみ方が出来ます。この古い教会の建築も素晴らしいのですが、ここでは、それも目立たなくなってしまいます。ここでは、たっぷりと時間をとって景観を楽しむべきだと思います。





そうは言っても、せわしない日本人の性格では、それほどの長居も出来ません。ひととおりの楽しみを終えると、次の歴史的な建物であるサン・ロレンツォ教会に向かいました。サン・ピエトロ教会は半島の突端ですから、ここから歩くと全て登りとなります。この半島の一番高いところには村と周りの景色を見渡すようにお城があるのです。サン・ロレンツォ教会はお城まで行く途中に位置しています。この教会は11世紀の後半にジェノヴァによって建てられました。ロマネスク建築のジェノヴァのサン・ロレンツォ教会を小型にしたような教会です。祭壇の裏の後陣に小さなフレスコ画が残っているのが印象的でした。でも、かなり薄くて何が書いてあるかわかりません。もっと、良いカメラがあれば望遠ではっきりと写せたと思います。この教会には観光客は数えるくらいしか来ていません。でも、教会を見るときは静かなほうが雰囲気は盛り上がり感動も大きくなります。



教会から、更に丘を登り丘の一番高いところにあるお城にいよいよ到着です。このお城はカステッロ・ドリアと呼ばれています。ドリアという興味深い名前がついていますが、この名前はジェノヴァの大富豪でジェノヴァ共和国に大きな影響を与えた Doria Family から来ています。Doria Family によって何度か改修されたこの丘の上の城は難攻不落だったようで、ピサもポルト・ヴィネーレを攻めたときに村までは占領したのですが、この城は落とせなかったとのこと。また、戦闘用の城でありながら領主の住居としても使われていたとのこと、お城の中はかなりの面積があります。お城には2.2ユーロの入場料で入ることが出来ます。特に、博物館などの設備はないので、お城の中外を見て回るだけですが、見ているといろいろと想像できて興味がつきません。また、見晴らしの良いところがところどころにあり、周りの景色を楽しめます。先ほどのサン・ピエトロ教会も丘の上から見るとさらに素晴らしさを感じます。城の城塔の中にも入ることが出来、その窓から下の景色を眺めることも出来ます。入場料も格安ですのでお勧めです。この丘の上の城から丘の下まで城壁が繋がっています。そのところどころに戦闘と見張りの為の城塔が建っています。村の人の住居はそれらをうまく利用して建てられているのが印象的でした。



城壁内の観光スポットはこれだけですが、城壁内の街並を楽しみながら散策するのも観光の一つです。お城から丘を下りながら、城壁に沿った細い階段や小道を歩いていると、普通の民家の裏通りになっています。そこには、世界遺産でありながらも、普通の生活をする田舎の人達の住居があるのです。細い路地の上には洗濯物がまたがって干してあります。この光景はどこのイタリアの村でも見られますが、この世界遺産の村でも同じ光景を見ることが出来ます。ここを歩くと時代錯誤に陥ることは間違いありません。



最後に、チンクエ・テッレへの入口を紹介します。この村の入口の門のちょっと奥まったところにチンクエ・テッレに繋がる遊歩道の入口があります。リオマッジョーレまで4時間と書いてありました。また、レヴァントまで12時間とも書いてありましたので、多分、最終地点まで歩くとここから12時間かかるとの意味だと思います。ここからいきなり階段の急な登りになっていますが、結構、出発する人がいました。それに、階段を降りてくる人も結構いましたので、4時間又は12時間歩いてチンクエ・テッレ観光をして来た人がいるのだと思います。チンクエ・テッレの名所には番号が振ってあって、まるで88ヶ所の札所めぐりのようなものです。このポルト・ヴェネーレが一番札所になるのでしょうか。



ポルト・ヴェネーレまでは、ラ・スペツィアからバスで30分です。ラ・スペツィアから丘を登り、山の中腹の道を、海を見ながら走って行きます。ラ・スペツィアからポルト・ヴェネーレまでは、入りくんだ湾が多く、イタリア海軍の駆逐艦の港やLNGの受け入り基地までありました。そこにはLNG船が停泊して輸送してきたLNGを入荷中でした。他にも、バスはなかなか景色の良いところを走りますので、30分のバスの旅はあつというまでです。

このバスは、日曜日だけラ・スペツィアの駅前の停留所から出ていますが、月曜から土曜日までは駅から歩いて10分ほどのStadio Piccoという場所から出ます。バスの本数は、日曜日でも30分に1本あり非常に便利です。ポルト・ヴェネーレからラ・スペツィアへの戻りはサルザーナ行き（ラ・スペツィアにも停まります）を含めて15分に1本あり、日曜日のほうが普段の日よりもバスの本数が多くなっています。やはり、ここは観光で持っているのですね。ですから、行きも帰りも日曜日に行

ったほうが便利なところなのです。バスのチケットは日曜日でも開いているタバッキがありますのでそこで購入できます。私は、駅前のバス停から街の広場のほうに100メートルくらい離れたところのタバッキで購入できました。停留所には1.5ユーロとありましたが、片道1.45ユーロでした。注意しなくてはいけないのは、戻りのバスは日曜日でも駅前まで行きませんので、Stadio Piccoで降りることになります。降りないとサルザーナまで連れて行かれますので気をつけてください。そこから駅までは徒歩で10分以上かかりますので、歩く時間と列車の出発時間を考えて利用するバスを決めてください。私の体験から余裕を見ておいたほうが良いと思います。

ラ・スペツィアまでは、ロゴレド発7時12分のICに乗ると、2時間50分で着きます。このICは直通ではないのでジェノヴァでローマ行きのICに乗り継ぎますが待ち時間は10分ですので、かなり便利です。ラ・スペツィアには10時04分に到着します。料金は合計で25.5ユーロです。普通列車だとラ・スペツィアまで直通の普通列車が7時39分にロゴレドを出ますが、ラ・スペツィアまで4時間弱かかり、到着は11時32分です。但し、料金は13.9ユーロと格安です。要は、時間をお金で買うかどうかの判断となります。どっちにしても、早起きをしなくてはなりません。帰りは、ラ・スペツィアから直通のICが2時間間隔でミラノ中央駅まで出ていますので、これを使うのが一番便利です。料金は22ユーロとちょっと安くなりますが、所要時間は3時間15分とちょっと長くなります。

ラ・スペツィアの街はリグーリア州ラ・スペツィア県の首都で、人口95000人の大きな街です。この街はちょうどジェノヴァとピサの中間点に位置し、ジェノヴァの同盟国として重要な防御拠点だったそうで、その目的で13世紀に建てられたサン・ジョルジョ城があります。今回は、ポルト・ヴェネーレに行くために通過しただけなので、この城を訪ねることができませんでしたが、そのうちにぜひ訪ねたいと考えています。この街並もジェノヴァと同様に宮殿のような大きな建物が多い港町です。教会もジェノヴァの教会に非常に似ています。

